



みおつくし

NEWS LETTER

vol.
03
2025 DEC.

ごあいさつ

工業用水道をご利用の皆さま、こんにちは。みおつくし工業用水コンセッション株式会社です。「みおつくし NEWS LETTER vol.3」をお届けします。寒冷の候、皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、今号では、改めて当社の料金体系についてご紹介するとともに、お得な口座振替キャンペーンや事業報告など、当社の最新の活動について特集いたしました。そのほか、安定供給に不可欠な受水槽設置のお願いや、ご利用企業のお客さまの声など、盛りだくさんの内容となっております。ご一読いただき、皆さまの事業活動にお役立ていただけますと幸いです。

料金体系のご紹介

今回は、現在適用されている工業用水の料金体系について、皆さまにご理解を深めていただくため改めてご紹介させていただきます。料金の詳細やご契約に関するご不明点がございましたら、いつでもお気軽に当社までお問い合わせください。

従来の料金プラン

1ヶ月の料金	
責任使用料金	水量(㎡)×35円/㎡+消費税(円未満切捨)
超過使用料金	水量(㎡)×70円/㎡+消費税(円未満切捨)
メーター料*	各メーター口径に応じた料金+消費税(円未満切捨)

※メーター料とは、当社がお客さまにお貸しする水道メーターのご使用料金です。

メーター料(1個・1ヶ月につき)

口径	料金 (月額・税別)
40ミリメートル以下	400円
100ミリメートル以下	1,500円
150ミリメートル以下	3,400円
250ミリメートル以下	3,800円
350ミリメートル以下	5,000円

【例】1ヶ月の料金の算出

責任使用水量が1日1㎡のお客さまで、メーター口径75mmで、1ヶ月(30日)のご使用量が100㎡の場合

A 責任使用料金
30㎡×35円/㎡+消費税=1,155円
B 超過使用料金
70㎡×70円/㎡+消費税=5,390円
C メーター料
1,500円+消費税=1,650円
A+B+C=8,195円が、1ヶ月の料金です。

新料金プラン

お客さまの前年度の実使用水量の年間合計を基準実使用水量とし、お客さまの当年度の実使用水量が基準実使用水量の1.1倍を超過した翌月からその年度末まで、超過使用料金を10%引きするプランとなります。(超過水量単価70円→63円)

※新料金プランを適用するためには、前年度までに申込みが必要となります。

適用条件(以下の3つの条件を満たすお客さま)

- 申込前年度1年間(4月～3月)の実使用水量の実績がある
- 申込前年度のいずれの月も実使用水量が0㎡でない
- 当社のコンサルティングサービスを受けることが可能

3/1まで
受付
してるで～!



お支払いは便利な口座振替で！お得なキャンペーンのご案内

- 毎月のお支払いの手間が省け、払い忘れもなくなる便利な「口座振替」。みおつくし工業用水コンセッションでは、皆さまの利便性向上のため、口座振替の利用を推奨しております。
- キャンペーンに申し込んでいただき、新規で口座振替を開始されたお客さまに、もれなくQUOカード1,000円分をプレゼントするキャンペーンを実施中です。
- この機会にぜひ、便利な口座振替をご利用ください。キャンペーンの詳細やお手続きの方法については、当社ウェブサイトに掲載の案内をご確認ください。

■掲載ページ当社ウェブサイト「文書等データベース」>サービスメニュー <https://www.osakakousui.com/contract/>

工業用水を安定的にお使いいただくために ～受水槽及び施設内切替設備の設置のお願い～

今回は皆さまの事業の継続と、工業用水のさらなる安定供給のために、「受水槽」と「施設内切替設備」の設置について、改めてご協力をお願いしたく、ご案内申し上げます。

なぜ「受水槽」の設置が必要なのでしょう？

受水槽の設置には、お客さまご自身の備えになるだけでなく、地域全体の安定供給にも繋がるという、2つの大きな利点があります。

これでみんな
安心やあ～！



POINT!

1

お客さまの事業継続計画(BCP)対策に

地震や落雷などの自然災害、あるいは配水管の漏水事故などにより、やむを得ず断水が発生する可能性はゼロではありません。万が一、工業用水の供給が停止した場合、皆さまの事業活動に大きな影響が及ぶことが懸念されます。

受水槽を設置いただくことで、一定量の水を確保することができ、一定期間断水時でも事業を継続することが可能になります。

POINT!

2

地域全体の安定的な水の供給に

工業用水は、大きな配水管から皆さまの工場や事業所に供給されています。この際、受水槽を介さず直接ポンプなどで急激に大量の水を引き込むと、配水管内の水圧が一時的に大きく低下します。

この水圧低下が、周辺の他のお客さまにおいて「水が出にくくなる」「水の勢いが弱くなる」といった出水不良を引き起こす原因となることがあります。

受水槽を設置していただくことで、配水管からは時間をかけて平準的に水を引き込むことができます。これにより、配水管への急な負荷がなくなり、地域全体への安定供給に繋がります。

さらに
安心！

「施設内切替設備」でバックアップを

「施設内切替設備」を併せて設置することで、断水時の備えをさらに強化することができます。

施設内切替設備とは…

工業用水道が断水等で使えなくなった際に、お客さまの施設内で工業用水道の受水槽に上水(水道水)等を給水してバックアップすることが可能な設備のことです。

万が一、工業用水の断水が長時間に及んだ場合でも、この設備があれば上水を受水槽に補充し、事業に必要な水の確保を継続することが可能となります。

この機会に一度、受水槽の設置の有無や有効容量をご確認いただき、あわせて施設内切替設備の設置についてもご検討ください。

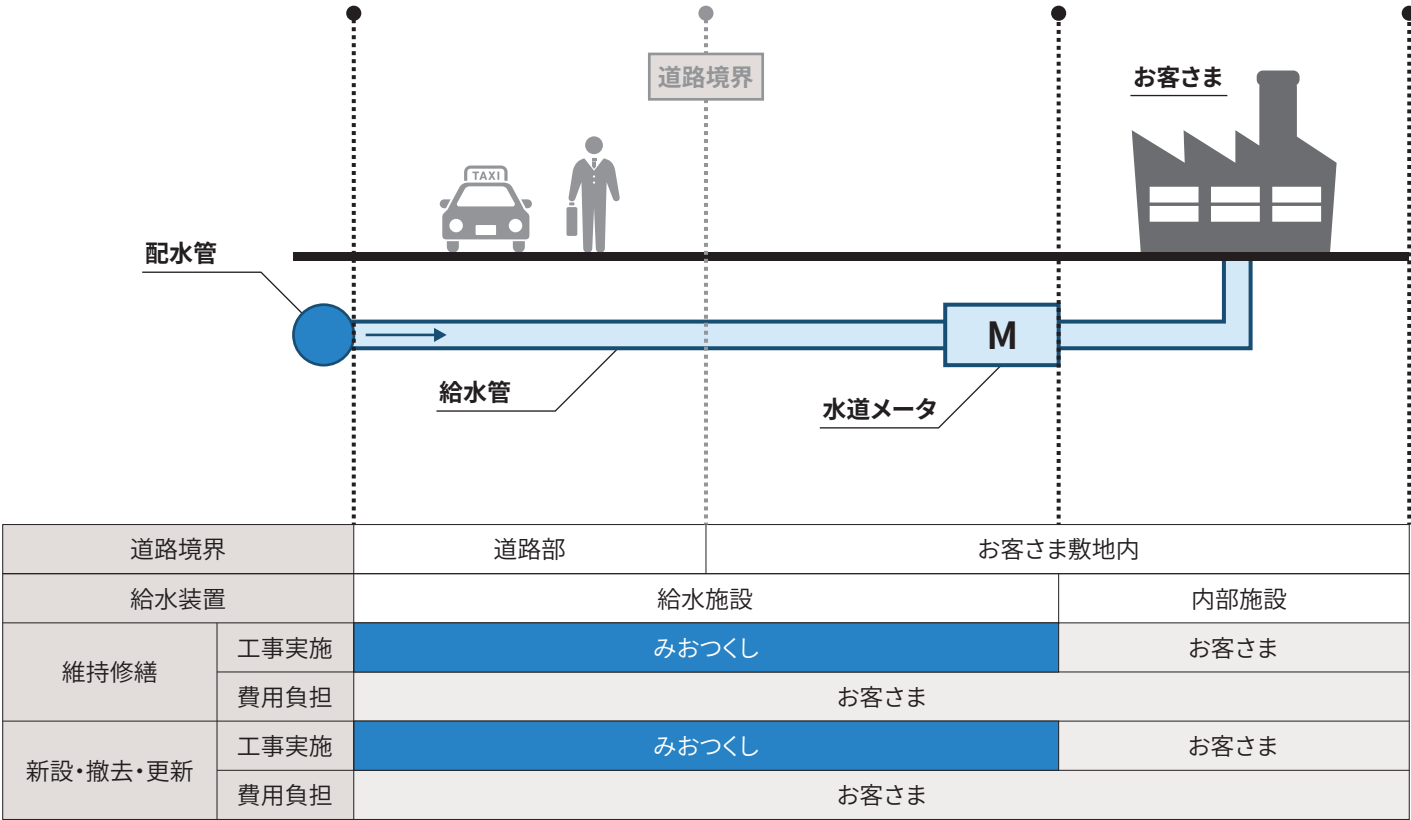
令和6年度単年度事業報告書及び第1期中期事業報告書掲載のお知らせ

この度、令和6年度単年度事業報告書及び第1期中期事業報告書(令和4年度～令和6年度)を、当社ウェブサイトに掲載いたしましたので、お知らせいたします。下記ページより、ぜひご覧ください。

■掲載ページ当社ウェブサイト「事業報告」 https://www.osakakousui.com/service_p/report/

大阪市工業用水道における給水装置に関する工事の費用負担区分について

給水装置に関する工事（修繕・新設・撤去・更新）においては、道路境界や水道メータを基準に、お客さまと当社で実施主体と費用負担が分かれています。今一度ご確認をお願いいたします。

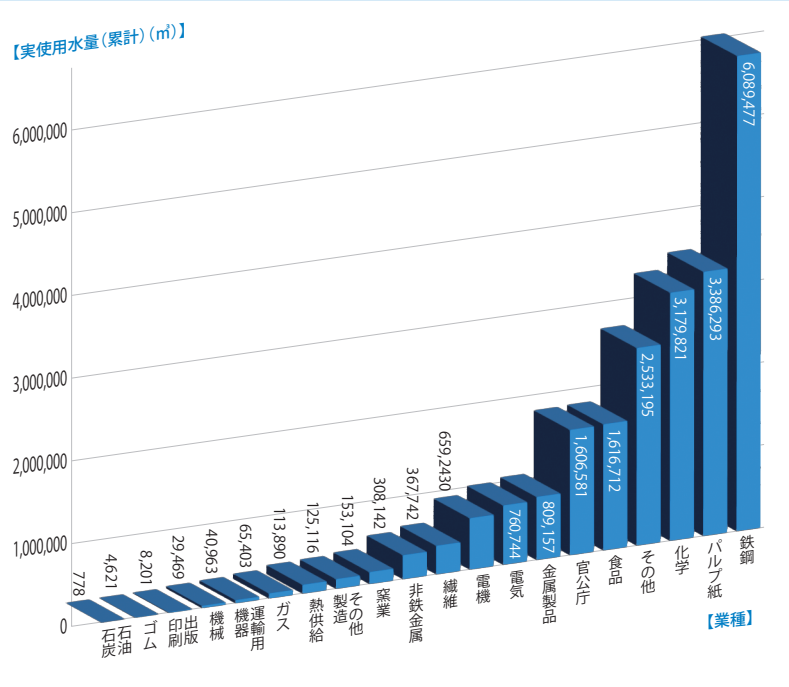


※ただし、道路部分の給水施設の漏水修繕にかかる費用については、供給規程施行細目に基づき対応いたします。

データを見る仕組み

第3回

令和6年度業種別実使用水量合計



令和6年度の業種別実使用水量です。様々な業種で工業用水をご使用いただいておりますが、業種別でみると、令和6年度は鉄鋼業が最も多く6,089,477m³、次いでパルプ紙が3,386,293m³、そして化学が3,179,821m³となりました。

いろんな業種、用途で使えるでシュ



VOICE お客さまの 声

高圧洗浄で船体を美しく 造船所を支える工業用水

株式会社新来島サノヤス造船
大阪製造所 様



私たちは大阪市内にある造船所で、主に船の検査や修理を行っています。業種としては「船舶製造修理業」になりますが、この大阪製造所では新造船の建造は行っておりません。いわば船の“車検”にあたる定期検査やメンテナンス、修理作業が中心です。扱う船は種類も大きさもさまざまで、クレーン付きの作業船をはじめ、海上保安庁・水産庁・気象庁といった官公庁の船のほか、民間の船も受け入れています。年間でおよそ70隻の船が入港し、修理期間も数日で終わるものから、1ヶ月ほどかかるものまでまちまちです。現場はいつも多様な船が行き交い、活気にあふれています。



現在、工業用水をどのような用途で使っていますか？

主に船体の「高圧洗浄」に使っています。海に浮かぶ船には、藻やカキガラなどの貝類がびっしり付着しています。特に海面下の赤い部分（船底）は汚れが多いので、ドックに上げたあと、高圧洗浄機で工業用水を勢いよく打ちつけて、汚れをきれいに落とします。仕組みはとてもシンプルで、ドック周辺に張り巡らされた工業用水の配管に高圧洗浄機を接続しています。すると、圧をかけられた工業用水が配管を通してホースの先端から勢いよく噴射される、という流れです。特別な工夫はありませんが、高圧洗浄機を通すことで十分な圧力が得られ、効率よく作業ができています。

このほかにも、工場内の消火栓や、船のエンジンをメンテナンスする際の試運転用の冷却水にも使っていますが、消火用水は実際に使うことはほとんどなく、冷却水の使用量もわずかなので、工業用水の主な用途は圧倒的に船体洗浄ですね。

工業用水を導入したメリットは？

もちろんコスト面です。私が赴任した時点で既に工業用水を導入して

いましたが、上水に比べて料金が安く、コストを抑えられるのが一番の利点です。また、水圧の安定性も高く、使用中に極端な水圧低下などのトラブルもほとんどありません。

正直なところ、普段はあって当たり前の存在として意識していませんでしたが、安価で安定的に必要な量を確保できる点で、とても助かっています。

他の利用者の皆さまへ向けてのメッセージ

工業用水は、私たちのように大量の水を使う業種にとって、実用的で頼もしい資源だと思います。これからも、安全で効率の良い船舶修理のために活用していきたいですね。



編集後記

最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。「みおつくしNEWS LETTER vol.3」はいかがでしたでしょうか。今号では、工業用水の料金体系のほか、工業用水を安定的にお使いいただくための「受水槽及び施設内切替設備の設置」と「給水装置に関する工事の費用負担区分」について取り上げました。本誌を通じて、当社の活動を少しでもご理解いただけたなら幸いです。次号は3月頃の発行を予定しております。さらに役立つ情報をお届けできるよう準備を進めてまいりますので、どうぞご期待ください。

みおつくし工業用水コンセッション株式会社

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2丁目1番10号ATCビル11M棟3階

TEL 06-6115-7744 (お客さまセンター)

Webサイト <https://www.osakakousui.com/>

Eメール contact@osakakousui.com

当社
Webサイト



ヤサスイ
Webサイト



YouTube

